

愛川町役場本庁舎の状況について

1 建物等の概要

本庁舎（角田字箕輪上原 2 5 1－1 他）

構造	階数	延床面積（㎡）	建築年度	経過年数	耐震基準	耐震改修
R C	5 階	2, 8 5 9	1 9 7 5 (昭和 50)	4 9	旧	未

2 本庁舎の課題(主なもの)

(1) 老朽化

2 0 2 5 (令和 7) 年度に税法上の償却期間 5 0 年を迎え、設備も竣工当時から使用しているものも多い。

(2) 耐震性【構造耐震指標（I S 値）】

一般的な鉄筋コンクリート建物の構造耐震指標は、0. 6 とされているが、本庁舎は、最も数値が低い階層で 0. 5 3 となっている。

(3) 施設の狭あい化

執務室や相談室、会議室などのスペースが手狭となっていることに加え、待合スペースと窓口との距離が近いことにより、十分な広さの通路確保が困難な場所もある。

(4) ユニバーサルデザイン

本庁舎の建設当時は、障がい者や高齢者、乳幼児等に配慮した考え方が浸透していなかった時代背景であり、バリアフリーへの対応が求められている。

3 本庁舎の耐震補強又は改築

平成 1 7 ・ 1 8 年度に実施した耐震診断調査において、本庁舎は、5 階、2 階、3 階建ての 3 つの階層を有する構造であることから耐震補強は難しく、また、本庁舎は、新庁舎及び福祉センターとエキスパンションジョイントで接していることから、免震工法補強は不可能と考えられるため、改築を視野に入れた総合的な検討を提案されていた。